

## ～第2章 暑い夏に負けず、秋まで咲かせる育て方～

### 1. パワフルな土づくりがスタートのポイント

定植時の土の肥沃度がとても大事です。よく発酵し、質の高い堆肥等の有機質に、ボカシ肥等の有機質系の肥料を加え、土壌菌が元気に活動出来る土壌環境を整えて定植します。決してたくさん入れ過ぎないように注意してください。

### 2. 盛夏時の剪定・追肥が長期間咲かせ続けるコツ

7月下旬から8月上旬にかけて、株全体のボリュームを半分から1/3位まで剪定すると、盛夏時の株の消耗が減り、新梢の発生が促され、夏疲れをした株が元気に再生します。この作業と同時に追肥を必ず実施します。これらの手入れ後、新しい枝が伸び、9月下旬の涼しくなる頃にはたくさん花芽を持って、夏以上にきれいな秋花が楽しめます。

### 3. マルチングや支柱立ても、とても重要

雑草抑制、乾燥防止の為にマルチングは暑い夏の株のストレスを柔らげるのにとっても有効です。また台風の時節と重なる為、株を地面に対して安定させるのに、支柱立ても必要な手入れです。夏は枝の伸長速度が速い為、定植時に行なうのがベストです。

----- メモ -----